

直方市デジタル田園都市国家構想
総合戦略検証シート
(令和 6 年度実績報告書)

基本目標	【施策目標①】個別の取組 帳票出力用		
施策目標	①産業に活力を与え、魅力ある雇用機会・創業機会を生み出す		

取組名	①-1市の農産物のブランド化									
KPI内容	市の農産物の高付加価値化に取り組む農業者を支援した件数						担当課		担当係	
							農業振興課		農業振興係	
目標値						単位		達成分類		
5件/年（※令和5年度3件）						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	5	5	5	5	5	25	No	分野		
							2	飢餓		
実績値	6					6	8	経済成長と雇用		
達成度 (%)	120%					24%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・ 6次産業化への支援 ・ 販路拡大の取組に対する支援				ジ・アウトレット北九州ひまわりテラスをはじめ、県庁ロビーやイオンモール直方でのイベントで農産物のPR活動や販売促進支援を行った（3件）ほか、「ふくのごジェラート」など3件の6次化商品開発支援をおこなった。			県の事業等を活用して、意欲ある農業者に向けた新たな商品開発の支援や販路拡大の取組に対する支援を継続して行う。			

取組名	①-2持続可能な農業の実現に向けたスマート農業の推進									
KPI内容	スマート農業に取り組む農業者を支援した件数						担当課		担当係	
							農業振興課		農業振興係	
目標値						単位		達成分類		
3件/年						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	3	3	3	3	3	15	No	分野		
							2	飢餓		
実績値	3					3	8	経済成長と雇用		
達成度 (%)	100%					20%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
園芸ハウス農家に対するDX導入支援				商工観光課と連携して、総務省の地域デジタル基盤活用推進事業による新しい通信技術を活用したスマート農業の実証に取り組んだ。なお、この事業によって支援をおこなった農業者は3件である。			実証による技術の確立については一定の成果を得ることが出来た。今後は、国県の補助事業等を活用し実装の拡大に努め、さらなる普及を推進していく。			

取組名		①-3市内企業の新たな価値の創出に向けた経営力・事業戦略の強化（①）									
KPI内容		成長戦略の策定に関する支援を実施した企業数						担当課		担当係	
								商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類			
計画期間中10社						社		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値						10	No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	6					6	9	インフラ、産業化、イノベーション			
達成度 (%)						60%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・講師や受講者間の対話、議論を通じて「戦略策定力」や「人間力」を身につけるため、「経営者の役割」「戦略策定の考え方」「人的資本経営の必要性」について、分かりやすく解説するワークショップを開催した。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」の肝となる事業であり、目標値2社に対し、6社（8名）の参加となり、非常に良いスタートを切れた。また、参加者からもワークショップの内容について、好評の声をいただいた。				「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」は令和5年度から令和9年度までの計画であり、引き続き、本事業についても実施をしていく。また、令和7年度のワークショップの内容についても、市内企業のニーズを把握しながら進めていく。			

取組名	①-3市内企業の新たな価値の創出に向けた経営力・事業戦略の強化（②）									
KPI内容	デジタル技術の活用による市内企業の経営力強化を支援した件数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
計画期間中10件						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値						10	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	5					5	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 (%)						50%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
産学官連携の実証事業を行った際に、直方市内の2つの農園で環境確認・制御等を行うシステムの実装に取り組んだ。また、直鞍ビジネス支援センターのIT担当アドバイザーによる経営相談の中で、予約管理のデジタル化等の取り組みがあった。				産学官連携による取り組みや、伴走型の支援により、市内の企業の経営力強化を図ることができた。業務の効率化や改善に役立ったとの前向きな評価が寄せられた。				今後も、地域の実情に即した実証的アプローチや、企業ごとの経営課題に対応した個別最適な支援を通じて、市内事業者の持続的発展と地域産業の競争力強化を図っていく。		

取組名	①-3市内企業の新たな価値の創出に向けた経営力・事業戦略の強化（③）									
KPI内容	市内での創業件数（認定創業支援等事業計画に基づく支援を行った新規創業件数）						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
30件/年						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	30	30	30	30	30	150	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	38					38	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度（%）	127%					25%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
直方商工会議所と協力して創業スクールを開催する等、創業支援ネットワークを生かした創業支援を実施した。また、「直方市まちなか創業等支援補助金」を直方商工会議所や直鞍ビジネス支援センターなどの関係機関に周知し、創業を目指す人に対し、連携して支援を行った。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、目標値件に対し、件という実績となった。商工会議所や日本政策金融公庫といったこれまでも繋がり深かった機関だけでなく、他の金融機関とも積極的に交流を行い、ネットワークの強化に努めた。				今後も創業支援ネットワークの各支援機関と連携を深め、市内で創業を志す人が創業しやすく、また事業を継続しやすい体制を構築していきたい。		

取組名		①-3市内企業の新たな価値の創出に向けた経営力・事業戦略の強化（④）									
KPI内容		直鞍ビジネス支援センターにおける経営相談ののべ件数						担当課		担当係	
								商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類			
300件/年						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	300	300	300	300	300	1500	No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	362					362	9	インフラ、産業化、イノベーション			
達成度 (%)	121%					24%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
通常の経営相談業務に加え、「直方市ふるさと納税出品サポート」と題した、ふるさと納税に出品するために必要なスキルを身につけるための一連のセミナーを開催し、既存相談者のスキルアップと新規相談者の獲得を図った。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、目標値300件に対し、362件という実績となった。目標値は上回ったものの、これまで支援してきた事業者の継続的な支援の件数が多く、新規相談者の獲得については課題が残った。				経営相談所として市内で一定程度の認知は得られてきたが、新規相談者の獲得が課題となっているため、広報活動により注力するとともに、より多くの人に利用してもらうための体制づくりに取り組んでいきたい。			

取組名	①-4持続的な企業成長に向けた人材の確保・育成（①）									
KPI内容	合同企業説明会の参加者数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
100人/年						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	100	100	100	100	100	500	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	118					118	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 (%)	118%					24%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・市内事業者の慢性的な人手不足の課題に対し、事業者による事業説明会の場を設けることを通して、市内企業の魅力について、高校生を主体とする求職者へ発信し、市内事業者の人材確保を促進する。また、参加する高校生にとっては、勤労観を養う場とする。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、参加者数は目標値100人に対し、118人と目標を達成することができた。参加者アンケートでは、今まで知らなかった分野の話を聞くことができたという声が聞かれた。				「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」は令和5年度から令和9年度までの計画であり、引き続き、本事業についても実施をしていく。また参加者数のみでなく、その後の採用実績についても、参加事業者や市内高校と連携し、把握できるようにする。		

取組名		①-4持続的な企業成長に向けた人材の確保・育成（②）									
KPI内容		副業・兼業人材の活用を支援した件数						担当課		担当係	
								商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類			
計画期間中15件						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値						15	No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	1					1	9	インフラ、産業化、イノベーション			
達成度 (%)						7%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・「直方市副業・兼業人材活用支援補助金」では、市内事業所（飲食店）のECサイト出店、InstagramなどのSNSの活用について、副業人材を活用し、支援を受けた。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、目標値3件に対し、1件の申請となった。副業人材活用の結果、すぐ売上増につながるわけではないが、販売戦略の足掛かりになったと、好評の声をいただいた。				「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」は令和5年度から令和9年度までの計画であり、引き続き、本事業についても実施をしていく。また、全国的に慢性的な人手不足の中、市としても、県や国の様々な人手不足に関する支援策について情報収集しつつ、伴走しながら事業成長に向け進めていく。			

取組名	①-4持続的な企業成長に向けた人材の確保・育成（③）										
KPI内容	直方市が実施するアントレプレナーシップ教育イベントの参加者数						担当課		担当係		
							商工観光課		工業振興係		
目標値						単位		達成分類			
20人/年						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	20	20	20	20	20	100	No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	662					662	9	インフラ、産業化、イノベーション			
達成度 (%)	3310%					662%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
直方西小学校において、小学生が起業家となり、事業の一連の流れを体験するアントレプレナーシップ教育事業を実施した。また、令和6年度のみ取り組みとして、内閣府の事業を活用し、世界で活躍するアントレプレナーによる中学生・高校生に向けた講演会を行った。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、目標値20人に対し、662人の実績となった。市内の児童・学生が創業や、働くことについて意識を向ける良いきっかけになったと考える。				直方西小学校での取り組みについては令和7年度も継続して実施する。今後については、どのような形で事業を行っていくべきか、教育委員会と密に連携をとっていきたい。			

取組名	①-4持続的な企業成長に向けた人材の確保・育成（④）									
KPI内容	小学生向けのプログラミング教室の参加者数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
10人/年						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	10	10	10	10	10	50	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	245					245	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 (%)	2450%					490%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
直鞍次世代産業研究会と合同で、鞍手高校のSSH部協力のもと「キッズプログラミング教室」を開催した。また、令和6年度のみ取り組みとして、TEPIA(一般財団法人高度技術社会推進協会)と合同で、「のおがたSDGsフェスタinイオンモール直方」にてプログラミング体験広場を開催した。				例年行っているキッズプログラミング教室に加え、TEPIAと共催したプログラミング体験広場で多くの方がプログラミングを体験した。また、アンケートでも高評価が得られた。				これまで直鞍次世代産業研究会と共同でキッズプログラミング教室を実施してきたが、当初事業を始めた頃より民間のプログラミング教室や動画サイトでの学習が盛んになってきており、直鞍次世代産業研究会としての役割は一定程度果たしたとして、令和6年度をもって事業を終了することとなった。		

取組名	①-5市内企業の事業継続に関する基盤整備									
KPI内容	事業承継に関する支援を実施した企業数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
計画期間中10社						社		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値						10	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	0					0	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 (%)						0%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・独立行政法人中小企業基盤整備機構と連携し、令和7年度に各支援機関の顔合わせを兼ねたセミナー及び事業者向けのセミナーを開催するための準備・打ち合わせを行った。 ・直方市、支援機関、金融機関にて構築されている、「のおがた創業支援ネットワーク」を活用し、市内企業のワンストップ窓口として、事業承継についても支援を実施するための準備を行った。				令和5年3月に策定した、「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」に基づく事業であり、計画上、令和6年度については、事業検討をする年度であった。			「第2次直方市産業振興ビジョン・アクションプラン」は令和5年度から令和9年度までの計画であり、令和7年度以降、実支援に向け、まずは各支援機関向けのセミナーを行い、事業承継に向けた機運醸成を図っていく。			

取組名	①-6企業が保有する技術力強化とイノベーションの推進（①）									
KPI内容	将来の産業振興を見据えた技術力強化、技術革新に関する研究会の発足とその研究会の実施件数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
4回/年						回		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	4	4	4	4	4	20	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	2					2	9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 (%)	50%					10%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
直方市DX推進ラボのメンバーが中心となり、産業技術について議論する研究会を2回開催した。うち1回は、九州の産業界に大きな影響を及ぼしている半導体について議論し、もう1回は産学官連携で実証事業を行ったスマート農業について現場見学会を行った。				目標値4件に対し、実績値2件となった。小規模な研究会ではあったが、自らの事業の利益を追い求めるだけでなく、地域のために何か活動したいという志を持つ事業者が集まり、今後の直方市を盛り上げるための意義ある議論ができた。				直方市の高い技術力を活かし、高付加価値化を進めるために、技術力強化を目的とした研究会の存在は必要。ただし、企業が研究会に加入するメリットを整理し、持続的に活動を行える組織になるよう戦略を立てる必要がある。		

取組名		①-6企業が保有する技術力強化とイノベーションの推進（②）									
KPI内容		デジタルを活用して地域課題解決を図るサービス事業者の誘致件数						担当課		担当係	
								商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類			
計画期間中5件						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値						5	No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	0					0	9	インフラ、産業化、イノベーション			
達成度 (%)						0%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
これまでに実証事業等で関係を築いてきたIT事業者に対し、直方市内での事業展開を積極的に働きかけた。				市内の自宅で事業を営んでいた事業者が1件中心市街地にて新たに事業所を開設したが、市外からの誘致はなかった。また、市外でIT関係の事業を行っている事業者の誘致を行ったが、現在先方からの返事待ちの状態となっている。				令和6年度は、新たに1つのIT事業者が中心市街地に事業所を開設した。これまで市が誘致してきた事業者の中で、総務省の実証事業の委託を受け、直方市の地域課題の解決に取り組むなど、市内で活発に動く事業者もある一方で、なかなか思うように活動ができない事業者からの相談を受けることもあった。改めて、地域のどのような課題を解決するためにどういった技術が必要としているのか整理し、既存の事業者の定着と、新たな事業者の誘致を図る。			

基本目標	【施策目標②】個別の取組 帳票出力用
施策目標	②学力の向上と共に、新しい時代をたくましく生き抜く人づくりを推進する

取組名		②-1未来のデジタル人材育成事業									
KPI内容		プログラミング教室等への参加者数						担当課		担当係	
								企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類			
30人/年（※令和5年度23人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	30	30	30	30	30	150	No	分野			
							4	教育			
実績値	19					19					
達成度（%）	63%					13%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・新たにWEBコース、AIコースの2つを設定し、自己紹介ページやカメラ画像から物体を認識するAIモデルの作成に取り組んだ。 ・両コースとも夏休み期間中に開催し、参加費を完全無料化した。 ・域内企業による実例紹介や、工場見学等も同時開催した。				新たなコースの設定により、高校生の参加が開催以来初めて6割を超え、これまで参加が無かった層への訴求力が向上した。 一方AIコースは、学校行事等との重複により参加者数が少なく、日程設定に課題が残った。 また参加者アンケートからは、実例紹介などプログラミング技術の実社会での活用場面に触れ、大変学びになったという声が聞かれた。				引き続き幅広い興味をカバーするコースを設定しながら、参加者のレベルに応じたプログラミング技術の習得を可能にする内容を検討していく。 また令和7年度は試験的にオンライン参加枠も設け、場所にとらわれず参加しやすい環境の構築に取り組む。 さらに域内企業による実例紹介や工場見学も継続実施し、身に付けた技術を将来的に地域で活かす、具体的なイメージの形成を後押しする。			

取組名	②-2「これからの授業」の実践（①）									
KPI内容	「コンピューターや情報通信ネットワークを活用した授業をしている」と回答した教員の割合（4件法）						担当課		担当係	
							学校教育課		学校教育係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度2.8ポイント以上（※令和5年度2.7ポイント）						ポイント		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8		No	分野		
							4	教育		
実績値	3.0									
達成度（%）	107%									
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・ICTを活用した授業を推進するために、小中学校教員対象の「これからの授業研修会」を実施した。 ・教育データ基盤構築実現協議会を実施し、市内のICT活用の成果と課題を確認した。				電子黒板の導入が進み、現在学級に一台設置されている。また指導者用デジタル教科書が小学校に導入され、令和7年度には中学校にも導入される予定である。活用事例の紹介等も行うことで、ICTを活用した授業実践が増えている。				引き続き、市内の教員を対象としたICTの活用推進を図る研修を実施していく。GIGAスクール構想、ICTの活用は日々進化しており、外部の事例、専門家の知見等を取り入れていくことが重要と考えている。		

取組名		②-2「これからの授業」の実践（②）									
KPI内容		英検3級以上の生徒の割合（中学3年生）						担当課		担当係	
								学校教育課		学校教育係	
目標値						単位		達成分類			
50%以上（※令和5年度36.0%）						%		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						平均		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	50	50	50	50	50		No	分野			
							4	教育			
実績値	28										
達成度 (%)	56%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・生徒の興味・関心を高め、意欲の向上とコミュニケーションを図る資質・能力育成のために、市で英語発表会を実施した。また、各中学校にALTを派遣し、全ての生徒が英語を身近なものとして捉えることができるよう支援した。				英語発表会には多くの生徒が参加し、その発表に参加していない生徒も参観に来ていた。ALTは欠席が多く、年度途中で担当者も変わるなど、充実した活動を行うことができなかった。				令和7年度は英語発表会をユメニティ大ホールで実施し、より多くの生徒が見学できるようにする。ALTについては、派遣会社と協議を行い、充実した活動となるようにしていく。			

取組名	②-2「これからの授業」の実践（③）									
KPI内容	英検4級以上の生徒の割合（中学2年生）						担当課		担当係	
							学校教育課		学校教育係	
目標値						単位		達成分類		
50％以上（※令和5年度25.0％）						％		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	50	50	50	50	50		No	分野		
							4	教育		
実績値	22									
達成度（％）	44％									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・生徒の興味・関心を高め、意欲の向上とコミュニケーションを図る資質・能力育成のために、市で英語発表会を実施した。また、各中学校にALTを派遣し、全ての生徒が英語を身近なものとして捉えることができるよう支援した。				英語発表会には多くの生徒が参加し、その発表に参加していない生徒も参観に来ていた。ALTは欠席が多く、年度途中で担当者も変わるなど、充実した活動を行うことができなかった。			令和7年度は英語発表会をユメニティ大ホールで実施し、より多くの生徒が見学できるようにする。ALTについては、派遣会社と協議を行い、充実した活動となるようにしていく。			

取組名	②-3児童生徒の学力向上（①）										
KPI内容	全国学力・学習状況調査（小学6年生、中学3年生）						担当課		担当係		
							学校教育課		学校教育係		
目標値						単位		達成分類			
国語・算数・数学で100ポイント以上（全国平均値が100ポイント）（※令和5年度【小学6年生】国語97ポイント、算数99ポイント、【中学3年生】国語95ポイント、数学94ポイント）						ポイント		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						平均		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	100	100	100	100	100		No	分野			
							4	教育			
実績値	95										
達成度（%）	95%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・直方市学力向上検証委員会を年3回実施し学力の分析や取組の共通理解等を行った。 ・学校訪問や市の教員研修等で、各校の校内研究や教師の授業に対しての指導助言を行った。				市の重点取組の共通理解を図り、その推進を行うことができたが、今後の授業改善に向け、「のおがた授業モデル」の改訂を行う必要がある。				「のおがた授業モデル」の改訂を行い、複線型授業の実践を推奨する。また、「のおがた情報活用能力体系表（NILステップ）」を作成し、児童生徒が情報活用能力を身に付けることができるよう支援する。			

取組名	②-3児童生徒の学力向上（②）									
KPI内容	家庭学習（平日に家庭学習を行わない児童（小学6年生）・生徒（中学3年生）の割合）						担当課		担当係	
							学校教育課		学校教育係	
目標値						単位		達成分類		
全国平均以下（※令和5年度全国平均以上）								以下		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	1	1	1	1	1		No	分野		
							4	教育		
実績値	1.6									
達成度（%）	63%									
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・デジタルドリルの見直しを行い、教師が活用しやすいよう教員研修を行った。 ・直方市学力向上検証委員会で家庭学習の実態分析を行い、改善のための協議を行った。				児童生徒が家庭学習に意味や価値を感じて取り組むことができれば、家庭学習を行わない生徒が減少すると考える。今後は、子ども自身が必要性に応じた学習に取り組める課題の提供が必要である。				子ども自身が必要に応じた学習に取り組むためには課題選択が必須である。そのために、学校にはデジタルドリルの活用をさらに推進してもらいたい。		

取組名	②-3児童生徒の学力向上（③）									
KPI内容	各中学校区における小・中合同研修会の実施回数						担当課		担当係	
							学校教育課		学校教育係	
目標値						単位		達成分類		
年3回以上（※令和5年度3回）						回		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	3	3	3	3	3	15	No	分野		
							4	教育		
実績値	3					3				
達成度（%）	100%					20%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・小中一貫教育に関して直方市教育委員会の研究指定委嘱を行い、直方一中校区、直方二中校において実践を行っている。 ・小中一貫教育推進本部会を開催し、市の研究委嘱の充実を図っている。				年3回の小中一貫教育推進本部会で協議、決定したことを、小中一貫教育推進委員会を通じて周知することができた。直方市の小中一貫教育で目指す姿を新たに設定し、周知を行った。				引き続き、各校区が共通の教育目標実現に向けて、9年間を見通した教育過程を編成するよう共通理解を図る。規模適正化の話し合いの進展に合わせ、直方市の小中一貫教育のあり方についても考えていく。		

取組名		②-4食育の推進									
KPI内容		学校給食における直方産野菜・青果の使用量の割合						担当課		担当係	
								農業振興課		農業振興係	
目標値						単位		達成分類			
令和10年度25％（※令和4年度17％）						％		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						その他		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値					25		No	分野			
							2	飢餓			
実績値	23.34						3	保健			
							4	教育			
達成度 (%)	93%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・学校給食における地元農産物の使用を推進するため、野菜生産農家に対し食材供給の登録を促した。 ・市ホームページやSNSでの情報発信				令和６年度の中学校給食における地元産野菜の使用量割合は23.34％（教育総務課調べ）であり、目標値に近づけることができた。				引き続き、学校給食における地元農産物の使用を推進するため、野菜生産農家に対し食材供給の登録を促し、対象を限定した小ロットでの供給に取り組む。また、市のホームページやSNS等を活用し、地産地消の取組を発信する			

取組名		②-5生涯学習活動の促進									
KPI内容		中央公民館講座のオンライン受講者数						担当課		担当係	
								文化・スポーツ推進課		社会教育係	
目標値						単位		達成分類			
令和10年度250人（※令和5年度0人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						その他		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値					250		No	分野			
							4	教育			
実績値	0										
達成度 (%)	0%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・ 運用の制度設計を作成中。 ・ kintoneを使用したオンラインプラットフォームのアプリを作成中。				・ 他市町村の動向を調査を行い、オンラインでの講座開設機能や交流機能等を備えた「生涯学習オンラインプラットフォーム」を構築中である。将来的に立ち上げれるよう、よりプラットフォーム機能の精査が必要である。				情報が集約された「学びのプラットフォーム」として、誰もがいつでもどこでも活用できる生涯学習情報提供環境を構築する。			

基本目標	【施策目標③】個別の取組 帳票出力用
施策目標	③高技能人材の移住・定住を促進するとともに、関係人口を創出する

取組名	③-1U・I・Jターンや若者の市内定着促進（①）									
KPI内容	奨学金返還支援制度を活用し、市内に定着する若者の数						担当課		担当係	
							企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類		
20人/年（※令和5年度13人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	20	20	20	20	20	100	No	分野		
							11	持続可能な都市		
実績値	15					15	17	実施手段		
達成度（%）	75%					15%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・奨学金の貸与を受けて高校・大学等を卒業した若年層を対象に、年間最大15万円、最長3年間の奨学金返還支援事業を実施した。 ・市公式HPやLINE、イオンのデジタルサイネージや商工会議所ニュースなどで制度の広報を行った。				R6年度は新規に15名の申請があり、R5年度からの継続は13名全員より申請があった。 新規の15名のうち、直方市に居住しながら他市町村へ通勤している方が9名おり、転出防止として一定の効果があるものと評価している。			令和5年度から申請者は増えているが目標値には達していないため、移住・定住を促進していくためにも、高校や大学など今後の対象者となりうる所への制度紹介・周知を積極的に行い、制度利用者を増やしていく。			

取組名										③-1U・I・Jターンや若者の市内定着促進（②）																			
KPI内容										転入超過数										担当課					担当係				
																				企画経営課					企画経営係				
目標値										単位					達成分類														
令和10年度250人（※令和4年度188人）										人					以上														
										累積値の種類					判断年度														
										その他					令和10年度														
年度		令和6		令和7		令和8		令和9		令和10		累積値		SDGsの目標															
目標値										250				No		分野													
														11		持続可能な都市													
実績値		-43												17		実施手段													
達成度 (%)		0%																											
主な取組み								年度総括								今後の方向性													
・結婚新生活支援事業や奨学金返還支援事業を実施し、市内定着の推進を図った。 ・「麹町なだ万 福岡別邸」における市町村PRイベントにて市町村クイズやパンフレット、PR動画の提供を行い市のPRを行った。 ・県庁ロビー展や福銀本店ロビー展に出店し、市のPRを行った。								令和5年度は、前年度の188名転入超過から一転して43名の転出超過となる厳しい結果となった。令和4年度実績から転入者は72人減少し2090人、転出者は159人増加し2133人となった。市民意識調査の結果では定住意向（住み続けたい、移りたい）の割合は前回調査とほぼ同じであり、定住希望者は「自然環境に恵まれている」が理由として最も多く、非定住希望者は「通勤や買物のなどの際の交通が不便」が最も多かった。								市の認知度向上とイメージアップを図るため、多様な機会で情報発信を強化していき関係人口の増加、ひいては転入者数の増につなげる。 また、市民意識調査の結果をもとに、雇用や住環境、魅力的な自然など多角的な視点から効果的な対策を検討する必要がある。													

取組名		③-2近隣都市との連携の強化（①）									
KPI内容		北九州都市圏域マルシェにおける市内事業者参加者数						担当課		担当係	
								企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類			
5事業者/年（※令和5年度3事業者/年）						事業者		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	5	5	5	5	5	25	No	分野			
							11	持続可能な都市			
実績値	6					6	17	実施手段			
達成度 (%)	120%					24%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
事業者に対し、マルシェ参加のメリットを具体的に示し、事業者の参加を促した。 ・イオンモール福岡（R5.9.28～29）…4事業者 ・小倉駅JAM広場（R6.1.11～12）…2事業者				市を代表する老舗や人気店舗が参加し、後日店舗で使用可能なクーポン券も抽選で来場者へ配布することで、マルシェでの一時的な購買活動に留まらず、市への来訪を促進する場として活用することができた。				引き続き事業者に対し、マルシェ参加のメリットを具体的に示すことで、これまで参加がなかった事業者の参加を促し、より一層市の魅力の発信に努める。			

取組名		③-2近隣都市との連携の強化（②）									
KPI内容		広域連携に関する各種HPの閲覧数の増加						担当課		担当係	
								企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類			
500回/年						回		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	3379	3879	4379	4879	5379	21895	No	分野			
							11	持続可能な都市			
実績値	4077					4077	17	実施手段			
達成度 (%)	121%					19%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・北九州都市圏域連携中枢都市圏：マルシェ開催、圏域HP更新、雑誌掲載 ・直方・宗像線沿線自治体連絡会議：デジタルスタンプラリー開催、各市町HPへデジタルマップ掲載				北九州都市圏域では、マルシェ開催やHP更新などの例年の取組みに加え、新たにHP上に「お酒マップ」を作成し市内店舗を掲載するなど、HP掲載情報の充実に努めた。直方宗像線沿線自治体連絡会議では、スタンプラリーの開催等を通して各市町のスポット間の回遊を促進し、参加者からは高評価を得た。				引き続きHPやSNS等を活用し、域外に向けた情報発信を強化するとともに、実際に現地に足を運んでもらう仕掛け作りに取り組む。			

取組名		③-3デジタル技術を活用した観光まちづくり（①）									
KPI内容		市の観光情報に関する認知度						担当課		担当係	
								商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類			
令和8年度末50.0%						%		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						その他		令和8年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値			50				No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	45						11	持続可能な都市			
							12	持続可能な消費と生産			
達成度 (%)	90%						17	実施手段			
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
SNSを活用した観光資源、地域店舗の紹介 デジタルスタンプラリーの実施				SNSのフォロワー増により効果的なSNS運用を図るため、観光資源や市内店舗の紹介など、発信を積極的に行った。 また、市内周遊を促進するため、チューリップフェア期間中にデジタルスタンプラリーを実施した。				データを活用した観光動態の可視化（人流データ等）によるニーズの把握や、行動データの分析に基づく効果的な観光施策の展開を図る。			

取組名		③-3デジタル技術を活用した観光まちづくり（②）									
KPI内容		市の総合的な観光満足度						担当課		担当係	
								商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類			
令和8年度末60.0％（※令和3年度末45.9％）						％		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						その他		令和8年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値			60				No	分野			
							8	経済成長と雇用			
実績値	38.5						11	持続可能な都市			
							12	持続可能な消費と生産			
達成度 （％）	64％						17	実施手段			
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
SNSを活用した観光資源、地域店舗の紹介 デジタルスタンプラリーの実施				各観光地の取り組みや情報をつかみやす くするためSNSでの積極的な発信を行っ た。				多くの人に情報を得てもらうため、SNS のフォロワー増に努める。 かつ正確な情報の発信に努める。			

取組名	③-3デジタル技術を活用した観光まちづくり（③）									
KPI内容	観光客における再来訪者率						担当課		担当係	
							商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類		
令和8年度末30.0％（※令和3年度末18.9％）						％		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和8年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値			30				No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	12.8						11	持続可能な都市		
							12	持続可能な消費と生産		
達成度 （％）	43％						17	実施手段		
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
SNSを活用した観光資源、地域店舗の紹介 デジタルスタンプラリーの実施				現状では再来訪率は低い結果となった。 観光満足度と再来訪率は連動すると考え られるため、魅力的なコンテンツの造成 が必須である。			まずは認知度の低い直方市の観光地につ いて知ってもらい、一度訪れてもらう必 要があるが、そのうえで何度も訪れたく なるようなコンテンツの造成に努める			

取組名	③-3デジタル技術を活用した観光まちづくり（④）									
KPI内容	市訪問層1人あたりの飲食費＋土産物の平均観光消費額						担当課		担当係	
							商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類		
令和8年度末6,000円（※令和3年度末4,262円）						円		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和8年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値			6000				No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	7891						11	持続可能な都市		
							12	持続可能な消費と生産		
達成度（%）	132%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
SNSを活用した観光資源、地域店舗の紹介デジタルスタンプラリーの実施				観光消費額は高い結果となったが、物価高騰の影響等もあるものと考えられる。			観光協会と協力して、魅力的な物産の開発・開拓を図り、SNS等での発信も積極的に行う			

取組名	③-4伝える・つながる情報の発信（①）									
KPI内容	SNSのフォロワー総数						担当課		担当係	
							秘書広報課		秘書広報係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度21,000人、令和7年度22,000人、令和8年度23,000人、令和9年度24,000人、令和10年度25,000人（※令和5年度20,062人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000		No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	21,896						17	実施手段		
達成度（%）	104%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・ 見る人がわかりやすく、情報の取得が手軽にできるような発信の工夫 ・ 市民生活に必要な情報提供の即効性向上 ・ SNSを活用した情報提供の向上 ・ ふるさと応援大使の任命とその発信力を活用した広報活動				・ 積極的に情報収集に取り組み、タイミングを逃さず発信することができた。 ・ 情報発信が少なかった部署に声掛けし、発信していく事が出来た。			・ 部署間で連携し情報収集に取り組み、市の魅力や市民生活に必要な情報をタイムリーに発信していく。 ・ SNSの有効活用			

取組名	③-4伝える・つながる情報の発信（②）									
KPI内容	ふるさと納税のリピーター数						担当課		担当係	
							秘書広報課		ふるさと応援係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年3,000人、令和7年3,500人、令和8年4,000人、令和9年4,500人、令和10年5,000人（※令和4年1,646人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000	20000	No	分野		
							8	経済成長と雇用		
実績値	2,420					2420	17	実施手段		
達成度（%）	81%					12%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・寄附サイト内の広告を積極的に採用し、サイト外においてもSNS媒体でABテストを実施ながら動画配信を行う等、情報発信の強化に取り組んだ。 ・折衝により事業者から景品を提供してもらい、レビューキャンペーンを実施した。 ・リピートに繋がるような魅力的な返礼品を複数開発した。				Google・Yahoo!・YOUTUBE等でシティプロモーションを絡ませた返礼品の動画を配信することで、潜在層にリーチできた。 また、高額な返礼品を開発して、高所得者より多額な寄附を獲得することができた。 加えて、レビューキャンペーンのブーストにより多くの口コミを得ることができ、高評価も多数いただいた。			レビューキャンペーンは継続しながら、多種多様な広告を積極的に活用して、あらゆる角度からの寄附獲得を図る。 また、トレンドを常に把握して模倣しながら訴求力のある返礼品を開発していく。 加えて、市内事業者からの出品も増やし、返礼品を通じて地域の魅力を発信していく。			

基本目標	【施策目標④】個別の取組 帳票出力用
施策目標	④幼児教育や家庭環境への支援を強化する

取組名	④-1家庭教育支援									
KPI内容	各中学校区への子どもの居場所（子育て拠点）の設置						担当課		担当係	
							こども育成課		こども育成係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度全4中学校区設置						数		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値					4	4	No	分野		
							3	保健		
実績値	0					0				
達成度 (%)	0%					0%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・地域子育て支援センターでの利用者支援事業の実施（相談支援）				R6年度は地域子育て支援センターで相談支援事業を実施。市内認定こども園等は基本事業として相談支援事業を実施。子どもの居場所づくり促進のため「直方市こども食堂等事業費補助金交付要綱」を制定。				子育て拠点としての役割を明確にすることで、今後各施設への周知を行い、こどもの居場所の設置を目指す。		

取組名	④-2幼児教育・保育の推進									
KPI内容	未就園児・不就学児等の人数（年長児童）						担当課		担当係	
							こども育成課		幼児教育推進係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度2人、令和7年度2人、令和8年度1人、令和9年度1人、令和10年度0人（※令和5年度2人）						人(平均)		以下		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	2	2	1	1	0		No	分野		
							3	保健		
実績値	2						4	教育		
							11	持続可能な都市		
達成度 (%)	100%									
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・未就園児家庭の訪問（社協委託事業）によるこどもの把握				家庭訪問により未就園の対象児には会えており、確認ができている。保護者の考え方や家庭の状況が様々なため、就園につながりには難しい家庭もあるが、就学前の教育の重要性については今後も周知していく。				乳幼児教育・保育の指針（作成中）を策定し、保育園等と施設だけでなく、家庭、地域にも周知し、就学前の教育の重要性を継続して周知していく。		

基本目標	【施策目標⑤】個別の取組 帳票出力用
施策目標	⑤仕事と子育ての両立を支援する

取組名		⑤-1若い世代の結婚支援事業									
KPI内容		計画期間中の婚姻数						担当課		担当係	
								企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類			
300件/年（※令和5年度176件）						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	300	300	300	300	300	1500	No	分野			
							5	ジェンダー			
実績値	222					222					
達成度 (%)	74%					15%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・結婚に伴う経済的負担を軽減することにより、結婚しやすい環境づくりを推進し、地域における少子化対策を強化することを目的に「結婚新生活支援補助金」を実施した。 ・福岡県、近隣市町村と連携した広域婚活イベントを1件実施した。 ・福岡県の出会い応援団体に登録、自治体として結婚応援宣言を行った。				・補助金はより多くの世帯が活用できるよう上限額を一律30万円に引き下げたが、予算を使い切る応募があった。 ・広域婚活イベントは、参加枠16名に対し27名の応募があり、イベントそのものに対しては需要があると考えられる。				R5年度よりは婚姻数が増加しているが目標値が達成できていないため、予算をあまり使わない形で取り組める周知や県の出会い応援事務局と連携した事業実施に力を入れていきたい。			

取組名	⑤-2母子保健に関するサービスの向上（①）									
KPI内容	母子手帳アプリによる予防接種デジタル予診票導入医療機関						担当課		担当係	
							子育て・障がい支援課		母子保健係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度市内全4小児科で導入（※令和5年度導入小児科数0）						数		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値					4	4	No	分野		
							3	保健		
実績値	0					0	11	持続可能な都市		
達成度（%）	0%					0%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
市内小児科（4 か所）に、予防接種デジタル予診票導入に向けての説明を行った。				医療機関への説明、データ移行等の導入に向けての準備は実施できたが、導入はできなかった。			令和7年度には、医療機関（1 か所）で導入を実施する。			

取組名	⑤-2母子保健に関するサービスの向上（②）									
KPI内容	保健師等の全戸訪問時の聞き取り問診票の電子化導入						担当課		担当係	
							子育て・障がい支援課		母子保健係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度：100%（※令和5年度0%）						%		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値					100		No	分野		
							3	保健		
実績値	0						11	持続可能な都市		
達成度 （%）	0%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
電子化に向けて聞き取り問診票、記録の見直しを行い、様式の変更を実施した。				電子化導入に向けて、様式の見直しはできたが、導入はできなかった。			見直しを実施した様式の評価を行い、入力しやすい様式を検討する。また、聞き取り問診票については、母子モアプリの活用を検討する。			

取組名		⑤-3子育て家庭・地域の子育て支援									
KPI内容		子育て支援講座の参加者数						担当課		担当係	
								こども育成課		幼児教育推進係	
目標値						単位		達成分類			
100人/年（※出生人数の1/3程度。【参考】出生人数：令和3年度394人、令和4年度389人、令和5年度323人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	100	100	100	100	100	500	No	分野			
							3	保健			
実績値	83					83	11	持続可能な都市			
達成度 (%)	83%					17%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・子育て支援センターでの子育て講座の開催 ・他係と共同した講座の開催				R6年度は、母親だけでなく、父親を対象とした講座を企画し、他係と共同で開催するなど、子育て中の保護者が参加しやすい環境づくりに取組んだ。				子育て中の保護者だけでなく、地域全体に対して、子育てへの関心を高められる講座を開催し、多くの人の参加を促しながら、家庭、地域の子育て力の向上を目指す。			

取組名		⑤-4保育所等の待機児童対策									
KPI内容		年度当初から年度末までの待機児童（希望する園への入園が叶わなかった児童）の人数						担当課		担当係	
								こども育成課		幼児教育推進係	
目標値						単位		達成分類			
令和6年度40人、令和7年度30人、令和8年度20人、令和9年度10人、令和10年度 0 人（※令和4年度40人）						人(平均)		以下			
						累積値の種類		判断年度			
						平均		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	40	30	20	10	0		No	分野			
							5	ジェンダー			
実績値	25						8	経済成長と雇用			
達成度 (%)	160%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
・ 保育士確保のための合同就職説明会の実施 ・ 保育士を確保するための保育士奨学金返済支援補助金				保護者の希望に応じた教育・保育を提供するため、市内の園と共同で就職説明会を継続して開催し、保育の受け皿を支える人材の確保に取り組んだ。				今後も継続して、保育の受け皿を支える人材の確保に取り組み、充実した教育・保育の提供を目指す。			

基本目標	【施策目標⑥】個別の取組 帳票出力用
施策目標	⑥まちの中心に賑わいをつくり、持続可能なまちづくりを推進する

取組名		⑥-1中心市街地賑わいづくり推進事業（①）									
KPI内容		多世代交流スペース「ここっちゃ」利用者数						担当課		担当係	
								商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類			
令和10年度1,400人/月（※令和5年度1,012人/月）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						平均		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	1400	1400	1400	1400	1400		No	分野			
							9	インフラ、産業化、イノベーション			
実績値	1132						11	持続可能な都市			
達成度 (%)	81%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
多世代交流スペースここっちゃの施設管理、（株）まちづくり直方を通じたここっちゃの飲食・物販スペースの運営や、賑わいづくりのためのイベント実施等の取り組みを行った。				稼働2年目ということもあり、子育て支援センターのにちようひろば（月に一度日曜日にオープンすること）をはじめとして、入居事業者がそれぞれ積極的に人が集まるイベントを実施した。目標値には届かなかったものの、手さぐりで運営していた1年目とは違い、事業者同士で連携して運営できた1年であった。一方で、問い合わせ窓口がバラバラで誰に何を聞けばいいかわからないといった、利用者に不便を強いる部分は課題として残っている。				明確ではない交流エリアの運営方針を定め、適切な運営体制を策定する。			

取組名	⑥-1中心市街地賑わいづくり推進事業（②）									
KPI内容	活用が図られた中心市街地の遊休資産の件数						担当課		担当係	
							商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類		
計画期間中10件						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値						10	No	分野		
							9	インフラ、産業化、イノベーション		
実績値	1					1	11	持続可能な都市		
達成度 (%)						10%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
直方市中心市街地エリアマネジメント事業において、活用可能物件の建築調査を行った。調査した物件について入居を促進するために具体的な活用のイメージを示すためのポップアップイベントを行った。				ここっちゃんを拠点に賑わいづくりを広げていくことを狙いここっちゃん向かいにある物件への入居促進を図った。物件所有者と丁寧に打合せを重ね、賃貸借としての活用に理解を示していただいたことで、ポップアップイベントを実施することができた。イベントの結果、入居への関心を持つ事業者を3つ発掘することができた。			ここっちゃんの向かいにある物件について3つの入居希望者の内1事業者の入居が進んでいる。一方、当該物件だけではなく、点在しているその他の活用可能物件について賃貸情報を収集し、カタログを作製して入居希望者とのマッチングを図り、中心市街地の賑わいづくりに繋げていく。			

取組名		⑥-2直方北九州自転車道の活用（レンタサイクル、広域イベントの開催等）（①）									
KPI内容		平成筑豊鉄道サイクルトレインを活用したツーリズムの参加者数						担当課		担当係	
								商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類			
200人/年						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	200	200	200	200	200	1000	No	分野			
							11	持続可能な都市			
実績値	51					51					
達成度 (%)	26%					5%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
平筑沿線の2市1町1村でポイントを集めて、応募者から抽選でご当地特産品が当たるデジタルスタンプラリーを実施。				想定よりも参加者が少なく、複数の自治体を巡るというコンセプトが難易度を上げたことが要因。				魅力あるコンテンツがないと集客につながらない。市観光協会と協力し、サイクリングコースの設定やツアーの醸成などベースとなる集客コンテンツの作成を検討する必要がある。			

取組名	⑥-2直方北九州自転車道の活用（レンタサイクル、広域イベントの開催等）（②）									
KPI内容	自転車走行イベントの参加者数						担当課		担当係	
							商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類		
200人/年（※令和4年度163人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	200	200	200	200	200	1000	No	分野		
							11	持続可能な都市		
実績値	101					101				
達成度（%）	51%					10%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
河川敷利活用の促進に特化したイベントと するため、直方市役所前から中間市役所前 までの自転車道走行及び河川敷キャンプ場 を活用したBBQイベントを実施した。.				事前予約制としたがすぐに定員に達する など関心の高さがうかがえた。事後アン ケートによる参加者満足度も極めて高 く、今後も自転車道活用施策としてイベ ントを実施するのであれば参加者数を令 和6年度と同程度としたうえで同じ形で実 施するのが望ましいと考える。			これまでの取り組みを振り返ると、直方 北九州自転車道の活用促進といった意味 では単発イベントの実施のみで効果があ るかは疑問が残る。レンタサイクル事業 者もすべて撤退しており、活用施策の抜 本的見直しが必要。			

取組名	⑥-3文化・芸術を活用した地域活性化（①）										
KPI内容	文化5施設（ユメニティのおがた、直方市立図書館、直方市美術館（本館・別館）、直方歳時館、直方市石炭記念館）の利用者数						担当課		担当係		
							文化・スポーツ推進課		社会教育係		
目標値						単位		達成分類			
150,000人/年（※令和5年度171,911人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	750,000	No	分野			
							4	教育			
実績値	166,774					166,774	11	持続可能な都市			
達成度（%）	111%					22%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
【ユメニティのおがた】 文化芸術にかかるアウトリーチ事業を含む育成事業や大ホール・小ホールで行う各種イベント・企画の実施 【図書館】 図書の貸出や読書の推進に関する各種イベント・企画の実施。また、移動図書館など図書館外における図書の展開 【美術館】 美術館主催の企画展の実施及び貸館による市民の芸術成果発表等地域の芸術振興にかかる事業 【歳時館】 和の建築を生かした貸館事業や各種イベント・企画の実施 【石炭記念館】 国史跡として貴重な資料の展示や各種イベント・企画の実施				文化施設間の連携した事業に加え、他機関と共同で実施する事業にも力を入れ、数カ年継続して行っている事業についても新聞やテレビなどの媒体を通しての広報が効果的に作用し、事業を展開している。				既存の事業の見直しはもちろんのこと、新たな事業についても、様々な機関との連携した事業についても開拓していく。また、文化施設の新たな在り方として、市民の居場所となりうる環境づくりを進めていく。			

取組名	⑥-3文化・芸術を活用した地域活性化（②）									
KPI内容	バーチャルミュージアムの閲覧数						担当課		担当係	
							文化・スポーツ推進課		社会教育係	
目標値						単位		達成分類		
20,000回/年（※令和5年度10,955回）						回		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000	No	分野		
							4	教育		
実績値	5,323					5,323	11	持続可能な都市		
達成度 (%)	27%					5%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・指定管理者と連携し、文化・芸術に触れ、親しむ機会と活動の場の充実を図る。 ・文化団体の育成や活動を支援し、市民の文化・芸術活動の活性化を推進する。 ・文化財の保存整備を推進し、まちの資源として活用し、郷土の歴史・文化を学ぶ機会の充実を図る。				・R6年度は文化財専門員が1名減の状況下において大型発掘作業があり、文化財の企画展を行えなかった。そのためバーチャルミュージアムの閲覧数に影響したと考えられる。			3市（直方市/田川市/飯塚市）合同の筑豊炭田遺跡群の企画講座をデジタル配信し、文化に触れる機会を創出ししていく。			

取組名	⑥-3文化・芸術を活用した地域活性化（③）									
KPI内容	高取焼のイベントの参加者数						担当課		担当係	
							商工観光課		商業観光係	
目標値						単位		達成分類		
200人/年						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	200	200	200	200	200	1000	No	分野		
							4	教育		
実績値	720					720	11	持続可能な都市		
達成度 (%)	360%					72%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
年2回のイベントに関する市報・SNS等を活用した広報				令和6年度より一部イベント会場を福智山ろく花公園へ変更し、広報活動を強化することでイベント参加者増を図っている			イベント前の広報だけではなく、高取焼の価値や認知度を高めるような広報やコラボレーション等を図る			

取組名	⑥-4「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりの推進									
KPI内容	居住誘導区域の人口密度						担当課		担当係	
							都市計画課		都市計画係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度：44.3人/ha、令和7年度：44.0人/ha、令和8年度：43.8人/ha、令和9年度：43.5人/ha、令和10年度：43.2人/ha（※令和5年度44.2/ha）						ha		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	44.3	44	43.8	43.5	43.2		No	分野		
							11	持続可能な都市		
実績値	43.9									
達成度 (%)	99%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
立地適正化計画により都市機能誘導区域、居住誘導区域外における一定規模以上の開発行為や建築行為の届出を義務づけ、誘導区域内への集約に向けた取組を行っている。 2024年度届出実績：6件 （都市機能誘導区域外における建築行為：1件、居住誘導区域外における建築行為：5件）				市全体の人口が減少するなか居住誘導区域内の人口密度はほぼ目標値を達成している。しかし直方駅東側では低未利用土地が多く発生しており生活利便性や活力の低下が懸念される。			令和6年度に実施した都市計画基礎調査をもとに低未利用土地実態調査を実施し、利用促進対策の基礎資料を作成する。			

取組名		⑥-5空き家の適正管理と利活用の促進									
KPI内容		補助事業を活用して空き家の流通を促進した件数						担当課		担当係	
								都市計画課		住宅政策係	
目標値						単位		達成分類			
20件/年						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	20	20	20	20	20	100	No	分野			
							11	持続可能な都市			
実績値	23					23					
達成度 (%)	115%					23%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
広報誌及びホームページを通じて、空家等の適正管理及び各種補助制度について啓発を行った。 納税通知などの文書通知等を活用して老朽危険家屋の解体補助金や空き家バンク制度に関する情報提供を行った。				老朽危険家屋の解体補助金、利活用を目的とした住宅取得補助金や空き家リフォーム補助金を令和5年度から実施し順調に活用されている。				空き家バンクの活用、危険空家の解体費の補助や中古住宅の流通促進を目的とした補助金等の支援制度などを広く周知することにより、住宅保有者に空き家問題の啓発を図り、管理されていない空き家等の増加を抑制する。			

取組名	⑥-6カーボンニュートラルの推進（①）									
KPI内容	環境サミットの参加者数						担当課		担当係	
							環境政策課		環境政策係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度100人						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値					100		No	分野		
							3	保健		
実績値	120									
達成度 (%)	120%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
令和7年3月23日（日）にイオンモール直方にて市内4校に加え鞍手龍徳高校も参加し、各校が取組を発表する環境サミットを開催した。				環境サミットについては予定通り開催でき、参加校も増やすことができた。また、広報活動に力を入れた結果、来場者数も目標数を達成することができた。			も継続できるようにフォローアップをしていく。また、今後も環境サミットは5校で実施するように取り進めていくが、実施内容については、より発展させていくために検討していきたい。			

取組名	⑥-6カーボンニュートラルの推進（②）									
KPI内容	公共施設における再生可能エネルギーの導入量						担当課		担当係	
							環境政策課		環境政策係	
目標値						単位		達成分類		
令和9年度 2,942 k w						kw		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和9年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値				2,942			No	分野		
							3	保健		
実績値	392						7	エネルギー		
							9	インフラ、産業化、イノベーション		
達成度 （%）	13%						12	持続可能な消費と生産		
							13	気候変動		
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
北九州市を中心とする18市町を含む北九州都市圏域が第1回脱炭素先行地域に選定。第3者所有方式（PPA方式）により、公共施設への太陽光発電や蓄電池の導入を図る。				植木小学校に100kW、第一中学校に103kWの太陽光パネルを設置。 先行地域事業の期間中であるR9年度までの事業者が株式会社のおがたエナジーに決定した。			令和7年度事業については、10校の小中学校およびその他公共施設への導入を中心に検討。令和8年度以降の事業検討として、学校施設以外の公共施設について同時に検討を行う。			

取組名	⑥-7地方創生SDGsの推進（①）									
KPI内容	SDGs推進パートナーと連携して取り組みを行った件数						担当課		担当係	
							企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類		
計画期間中5件（※令和5年度2件）						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値						5	No	分野		
							17	実施手段		
実績値	3					3				
達成度 (%)						60%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・パートナーマッチングイベント（こども大工、こども食堂&工場見学）の開催 ・のおがたSDGsフェスタ2025の開催				パートナー間の新たなマッチングが実現し、その取り組みを市報等で情報発信することにより、新規パートナーの登録にも繋がった。フェスタでは、パートナーの取り組みを発信する場として、ワークショップやパネル展示、物産展など、多様なプログラムを組み合わせで開催した。				新たな取り組みとしてパートナーミーティングの開催等、パートナー間のマッチング機会の増加に取り組む。		

取組名	⑥-7地方創生SDGsの推進（②）										
KPI内容	SNS登録者数の増加						担当課		担当係		
							企画経営課		企画経営係		
目標値						単位		達成分類			
50人/年（令和5年度262人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	312	362	412	462	512		No	分野			
							17	実施手段			
実績値	354										
達成度 (%)	113%										
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
登録パートナーの取組み紹介や、イベントの開催告知、パートナーによる投稿の再投稿などを定期的に行った。				イベント開催時の即時投稿により、鮮度が高い情報の発信回数を増やした。またパートナー等の投稿の再投稿を行うことにより、フォロワー以外の目に触れる機会を増やした。				パートナーによる取組みの現地取材等も数を増やして行うことで、投稿内容の充実および投稿頻度を増やす。			

取組名	⑥-7地方創生SDGsの推進（③）									
KPI内容	SDGsフェスタへの企業・団体の参加者数						担当課		担当係	
							企画経営課		企画経営係	
目標値						単位		達成分類		
50件（計画期間中のべ参加者数）（※令和5年度15件）						件		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値						50	No	分野		
							17	実施手段		
実績値	12					12				
達成度 （%）						24%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・ワークショップ提供：4パートナー ・コンクール協賛：3パートナー ・取組み紹介ポスター展示：3パートナー（うち1社はコンクール協賛と重複） ・物産展参加：1パートナー ・スタンプラリー協賛：1パートナー ・ファッションショー（同時開催）：1パートナー				多様な参加形態を提案することにより、各企業・団体の幅広い取組み内容に関わらず、PRが可能な機会を提供することができた。			企業・団体の担当者による講演や交流会など、担当者が直接その取り組みをPRできるプログラムを開催することで、より多くの市民により多くの情報を伝えられる場として開催していく。			

基本目標	【施策目標⑦】個別の取組 帳票出力用
施策目標	⑦多様な主体が活躍できるまちづくりを推進する

取組名	⑦-1働く外国人の活躍支援（①）									
KPI内容	日本語教室の参加者数						担当課		担当係	
							文化・スポーツ推進課		社会教育係	
目標値						単位		達成分類		
60人/年（※令和5年度36人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	60	60	60	60	60	300	No	分野		
							10	不平等		
実績値	31					31	17	実施手段		
達成度 （%）	52%					10%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
直方市の企業で働く外国人技能実習生等及び市内在留外国人を対象。地域に馴染み、地域住民との共生できるよう、市民ボランティアの方々と一緒に、日本語を聞く・話す・書く等の体験を重点に置いたレクリエーションを通した日本語教室を開催。				主な取り組みの通り火曜日のボランティアアクラス、木曜日金曜日の日本語教室では、日本語教師や市民ボランティアの協力があり休むことなく開催できた。 しかし、開催時間が夜間であること、外国人の移動手段が自転車であり開催場所が遠いことなどから、限られた学習者の参加にとどまっており、学習者の確保に課題が残っている。			増加傾向にある外国人居住者への支援施策を通して、外国人が活躍できる地域環境をつくる。 国際交流事業を推進することで、働く場としての市内産業の魅力発信を行う。			

取組名	⑦-1働く外国人の活躍支援（②）									
KPI内容	技能実習生等との交流イベントの参加者数						担当課		担当係	
							商工観光課		工業振興係	
目標値						単位		達成分類		
40人/年（令和5年度28人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	40	40	40	40	40	200	No	分野		
							10	不平等		
実績値	26					26	17	実施手段		
達成度 （%）	65%					13%				
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・直方市技能実習生等外国人支援協議会の会員企業の外国人の方々を対象とする、直方市内バスツアーを開催。 ・直方市観光ガイドブック「ココロミチル」に掲載中の直方市の観光スポットを巡り、観光していただきながら、参加者同士の交流を深めてもらった。				目標値40名に対し、実績値26名と下回る結果となった。当日、体調不良で4名欠席になったことや、3月に予定としていた、植木桜づつみ公園パークゴルフ場でのパークゴルフ大会が雨により、中止になったことも要因として見込まれる（中止前参加予定者、21名）。				今後も、直方市技能実習生等外国人支援協議会の活動を通して、企業支援の一環として、技能実習生等の地域定着支援を行っていく。また、今後、技能実習制度から育成就労制度へと制度改正されるため、会員企業への情報提供についても、併せて実施していく。		

取組名	⑦-2障がいのある方の地域生活支援事業（①）										
KPI内容	一般就労につながった就労支援サービスの利用者数						担当課		担当係		
							子育て・障がい支援課		障がいサービス係		
目標値						単位		達成分類			
10人/年（※令和5年度10人）						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	10	10	10	10	10	50	No	分野			
							3	保健			
実績値	5					5	10	不平等			
達成度 (%)	50%					10%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
自立支援協議会の就労部会との連携を中心に一般就労の進捗状況を確認しながら、一般就労へあと少しの支援が必要な方へ、障がい福祉サービスの「就労移行支援」の期間延長の認定を行った。				前年度の半分の結果となったが、「就労移行支援」の利用期間が原則2年間となっており、令和6年度は1年延長の申出が例年に比べ多かった。そのため、年度内での就労に繋がらなかったと考えられる。				利用者のほとんどが精神障がいの方の為、安定して訓練を行うことが難しい状況ではあるが、今後も自立支援協議会と連携し、核施設の進捗状況や課題を確認しながら取り組んでいく。			

取組名	⑦-2障がいのある方の地域生活支援事業（②）									
KPI内容	デジタル障がい者手帳の導入促進						担当課		担当係	
							子育て・障がい支援課		障がいサービス係	
目標値						単位		達成分類		
令和7年度に公共施設の使用料割引制度の実施						-		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和7年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値		1					No	分野		
							3	保健		
実績値	1						10	不平等		
達成度 （%）	100%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
福岡県のデジタル障がい者手帳（ミライロID）を普及させるために、市内の公共施設に利用を働きかけた。				現在、市内公共施設で障がい者割引を行っている4施設（直方市石炭記念館、谷尾美術館、福智山ろく花公園、植木桜つつみ公園パークゴルフ場）に利用の同意をもらった。			障がい手帳保持者へミライロIDのアプリを広めるため、啓発に努める。積極的な利用を進めていく。			

取組名	⑦-2障がいのある方の地域生活支援事業（③）									
KPI内容	福祉タクシー券のオンライン申請率						担当課		担当係	
							子育て・障がい支援課		障がいサービス係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度 25%、令和7年度 27%、令和8年度 30%、令和9年度 32%、令和10年度 35%（※令和5年度21.6%）						%		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	25	27	30	32	35		No	分野		
							3	保健		
実績値	22.19						10	不平等		
達成度 (%)	89%									
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
前年の2月から福祉タクシー券の申請書と説明文を送付している。その際にオンライン申請の案内をしており、窓口に来る必要がない等のメリットを記載して、申請を促した。				令和5年度と比べて微増。年度初めの申請時のみオンライン申請を活用されるが、年間を通じて手帳交付時に手続することが多い為、紙での申請が多くなる為、目標達成とはならなかった。				年度初めの申請が集中して窓口が混雑するため、申請書を送らないようにするなど工夫をし、オンライン申請に切り替えてもらえるよう促していきたい。		

取組名	⑦-3高齢者の社会参加活性化への支援（①）									
KPI内容	シニアクラブ年間活動のべ人員						担当課		担当係	
							健康長寿課		高齢者支援係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度1,900人、令和7年度1,950人、令和8年度2,000人、令和9年度2,050人、令和10年度2,100人						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	1900	1950	2000	2050	2100	10000	No	分野		
							3	保健		
実績値	1739					1739	10	不平等		
達成度（%）	92%					17%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
シニアクラブの活動の支援を行い、地域活動への高齢者の参加を広げる取組を行っている。また、「元気サロン」をシニア連合会へ委託し、運動や各種イベント等を通じ高齢者の健康づくりや社会参加を促す支援を行った。				単位クラブとしてそれぞれの活動は、定期的に行われているが、シニアクラブ連合会から会員数の多い単位クラブが脱退したため、目標達成とならなかった。			シニアクラブの活動は、高齢者の健康増進、社会参加、地域コミュニティの活性化に大きく貢献しているが、会員数の減少や後継者不足などの課題が山積している。また、6年度に会員数の多い単位クラブが脱退したことにより、今後も目標達成は容易ではないが、シニアクラブへの支援を引き続き行っていく。			

取組名	⑦-3高齢者の社会参加活性化への支援（②）									
KPI内容	のおがた元気ポイント事業登録団体数						担当課		担当係	
							健康長寿課		高齢者支援係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度280団体3,200人、令和7年度290団体3,350人、令和8年度300団体3,500人、令和9年度310団体3,600人、令和10年度320団体3,700人						団体		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	280	290	300	310	320	1500	No	分野		
							3	保健		
実績値	306					306	10	不平等		
達成度 (%)	109%					20%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
フレイル予防教室等での元気ポイント事業の周知や、新規団体登録へむけた高齢者への声かけ依頼を民生委員へ行うなど、登録団体数及び登録人数の増加にむけての取組を行った。				65歳以上の高齢者が定期的に社会参加することで、介護予防の効果があるとされている。そのため、通いの場への参加を促し、運動などに取り組む団体以外でも団体登録を認めており、団体数は目標値を達成している。			社会参加と健康維持・介護予防は、高齢者の生活の質を向上させる上で非常に重要な要素となる。後継者不足に悩む団体が多いことが課題であるが、定期的な社会参加の促進のきっかけ及びモチベーション維持のために、元気ポイントのさらなる普及を図っていく。			

取組名	⑦-3高齢者の社会参加活性化への支援（③）										
KPI内容	のおがた元気ポイント事業登録人数						担当課		担当係		
							健康長寿課		高齢者支援係		
目標値						単位		達成分類			
令和6年度280団体3,200人、令和7年度290団体3,350人、令和8年度300団体3,500人、令和9年度310団体3,600人、令和10年度320団体3,700人						人		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						合計		各年			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値	3,200	3,350	3,500	3,600	3,700	17,350	No	分野			
							3	保健			
実績値	3,130					3,130	10	不平等			
達成度 (%)	98%					18%					
主な取組み				年度総括				今後の方向性			
フレイル予防教室等での元気ポイント事業の周知や、新規団体登録へむけた高齢者への声かけ依頼を民生委員へ行うなど、登録団体数及び登録人数の増加にむけての取組を行った。				団体数は多く、地域の通いの場は充実しており、参加者は昨年と比較し増加している。しかし、登録人数は目標値には達成していないため、高齢者にとっての通いの場の効果や、活動場所の周知などが不足した可能性がある。				社会参加と健康維持・介護予防は、高齢者の生活の質を向上させる上で非常に重要な要素となる。後継者不足に悩む団体が多いことが課題であるが、定期的な社会参加の促進のきっかけ及びモチベーション維持のために、元気ポイントのさらなる普及を図っていく。			

基本目標	【施策目標⑧】個別の取組 帳票出力用
施策目標	⑧市民の健幸と暮らしの質を向上させ、安全・安心なまちづくりを推進する

取組名	⑧-1市民や地域が主体の健康づくりの推進（①）									
KPI内容	福岡県健康アプリ登録者数						担当課		担当係	
							健康長寿課		健康企画係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度700人、令和7年度800人、令和8年度900人、令和9年度1,000人、令和10年度1,100人（※令和5年度637人）						人		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						合計		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	700	800	900	1,000	1,100	4,500	No	分野		
							3	保健		
実績値	800					800	10	不平等		
達成度（%）	114%					18%				
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
【ポイント利用店舗の増加】 ポイント利用先を拡充し、市内の飲食店、小売店、サービス業など幅広い業種の店舗に協力を依頼し、参加店舗を増やした。これにより、貯めたポイントを日常生活でより簡単に活用できるようになった。				アプリの登録者数は全体的に増加し、目標としていた若年層の増加についても効果が見られた。また、ポイントの利用先を市内の企業にしたことで、地域の活性化にも寄与した。			引き続き、参加店舗の拡充を目指し、スポーツ施設など健康関連もポイント利用先として取り入れる。地元の企業との連携を強化し、地域全体で健康推進活動を盛り上げていく。			

取組名	⑧-1市民や地域が主体の健康づくりの推進（②）									
KPI内容	健康寿命（平均自立期間）女性						担当課		担当係	
							健康長寿課		健康推進係	
目標値						単位		達成分類		
令和6年度：男性79.7歳・女性84.5歳、令和7年度：男性79.8歳・女性84.6歳、令和8年度：男性79.9歳・女性84.7歳、令和9年度：男性80.0歳・女性84.8歳、令和10年度：男性80.1歳・女性84.9歳（※令和5年4月時点男性79.6歳、女性84.4歳）						歳		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						平均		各年		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値	84.5	84.6	84.7	84.8	84.9		No	分野		
							3	保健		
実績値	84.4						10	不平等		
達成度（%）	99.9%									
主な取組み				年度総括				今後の方向性		
・女性のがん罹患率1位の乳がんにおいて、乳がん検診の受診医療機関を拡大し、また、イベントなど受診啓発活動に取り組んだ。 ・要介護の主な原因となる骨折の予防対策を女性の40、45、50、55、60、65、70歳を対象に骨粗しょう症検診の個別勧奨、医師会との連携によるイベントを実施した。				・令和6年度から受診医療機関に追加した2医療機関での受診者数は、62人であった。 ・骨粗しょう症検診受診率は、昨年度から国の目標値15%を超えている。				継続して女性特有の健康課題解決の対策を講じ、直方市の生活習慣病における健康課題の高血圧症と糖尿病とその重症化に対しても課題解決に向けて、個別の保健指導や地域への普及啓発の対策を強化し取り組んでいく。		

取組名										⑧-1市民や地域が主体の健康づくりの推進（③）														
KPI内容										健康寿命（平均自立期間）男性					担当課					担当係				
															健康長寿課					健康推進係				
目標値										単位					達成分類									
令和6年度：男性79.7歳・女性84.5歳、令和7年度：男性79.8歳・女性84.6歳、令和8年度：男性79.9歳・女性84.7歳、令和9年度：男性80.0歳・女性84.8歳、令和10年度：男性80.1歳・女性84.9歳（※令和5年4月時点男性79.6歳、女性84.4歳）										歳					以上									
										累積値の種類					判断年度									
										平均					各年									
年度		令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標																
目標値		79.7	79.8	79.9	80	80.1		No	分野															
								3	保健															
実績値		79.6						10	不平等															
達成度（%）		99.9%																						
主な取組み					年度総括					今後の方向性														
生活習慣病予防の対策として、医師会設置の直鞍地区糖尿病性腎症重症化予防対策協議会において、保健指導、かかりつけ医、専門医の連携について具体的な対策の協議を行った。					協議会は年4回開催し、直鞍2市2町、かかりつけ医、専門医との連携フローチャートの見直しを行い、医師会会員に情報共有を行うことで連携に努めた。また、かかりつけ医と専門医の連携シートを構築した。					現在の取り組みに加え、直方市の生活習慣における健康課題である高血圧症と糖尿病とその重症化の課題解決に向けて、個別の保健指導や地域への普及啓発の対策を強化し取り組んでいく。														

取組名		⑧-2公民学連携による健康づくりの推進									
KPI内容		データやデジタル技術を活用し、公民学が連携して実施する健康推進事業の数					担当課		担当係		
							健康長寿課		健康企画係		
目標値						単位		達成分類			
計画期間中3件						件		以上			
						累積値の種類		判断年度			
						その他		令和10年度			
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標				
目標値						3	No	分野			
							3	保健			
実績値	0					0					
達成度 (%)						0%					
主な取組み				年度総括			今後の方向性				
・ AIによって胸部X線写真から骨粗しょう症のスクリーニングをおこなう実証実験を実施予定だった。 ・ しかし、供給会社の突然のサービス中止によって、事業終了となった。				中止により予定されていたスケジュールや成果を得ることができなかった。骨粗しょう症のスクリーニングをAIで行う技術はまだ発展途上であるため、今後の進展に注目したい。			骨粗しょう症に特化せず、AI技術を他の疾患や健康管理分野に応用する可能性も探る方向で、健康管理全般の向上に資する事業を検討する。				

取組名										⑧-3地域防災力の充実・強化（①）									
KPI内容						自治区公民館組織等地域コミュニティでの防災学習・訓練の参加者数						担当課				担当係			
												防災・地域安全課				防災・地域安全係			
目標値						単位				達成分類									
400人/年						人				以上									
						累積値の種類				判断年度									
						合計				各年									
年度		令和6		令和7		令和8		令和9		令和10		累積値		SDGsの目標					
目標値		400		400		400		400		400		2,000		No		分野			
														3		保健			
実績値		474										474		11		持続可能な都市			
														13		気候変動			
達成度 (%)		119%										24%							
主な取組み						年度総括						今後の方向性							
・ 出前講座などを通して、防災に関する知識の啓発や、災害への備えの重要性を周知した。 ・ 地域ごとに防災訓練を実施するように働きかけた。						・ 能登半島地震に派遣された職員が中心になって、現地の報告と備えの大切さを周知した。 ・ 新入校区で新たに防災訓練を実施することができた。						・ 出前講座や地域防災会議を通して、自助・共助の重要性を啓発し、自主防災組織の活性化や防災訓練の実施につなげる。							

取組名	⑧-3地域防災力の充実・強化（②）									
KPI内容	市HP（防災関連ページ）の閲覧数						担当課		担当係	
							防災・地域安全課		防災・地域安全係	
目標値						単位		達成分類		
令和10年度 27,000回（※令和4年度13,609回）						回		以上		
						累積値の種類		判断年度		
						その他		令和10年度		
年度	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	累積値	SDGsの目標			
目標値					27,000		No	分野		
							3	保健		
実績値	8,718						11	持続可能な都市		
							13	気候変動		
達成度 （%）	32%									
主な取組み				年度総括			今後の方向性			
・ 平常時は防災・減災に関する情報をホームページに掲載し、災害時には避難所や被災状況など必要な情報を市民が入手できるようにした。				災害情報プラットフォームの運用を開始しており、災害時にいつでも簡単に情報を入手できるようにすることで、閲覧数の増加に努めた。			・ 防災・減災に関する情報をより充実させるとともに、災害情報プラットフォームを多くの市民に周知する。			